

なるを以て第四回評議員會の承認を得て本部用モーターボート一隻「あけほの丸」(一千七百五十圓)を兵庫松田造船所に注文し、大正十四年十二月十二日完成進水した。尙從來本部に於て使用し來りし備船モーターボートは大阪出張所用として従前同様備船する事となつた。

大震災以來横濱支部用として使用し來れる高見丸は漸く老朽して修繕費のみ徒らに嵩むを以て今回五百圓にて賣却し、其代りとしてモーターボート「あかつき丸」(一千九百圓)を横濱市渡邊造船所より大正十四年六月二十五日を以て購入したり。(第二回評議員會承認)

戸畑に於ける組合對他團體の紹介事務の關係上、同地に於てモーターボートを使用するの止むなきに當り大正十五年一月二十四日開催の第五回評議員會によつて承認され、「はつかせ丸」(一千二百圓)を購入する事となれり。

尚門司及名古屋に於ては極めて廉價なる備船料にてモーターボートを使用し居れり。

(十一) 電話番號變更

本部使用電話三宮四一四番は大正十四年九月十一日、横濱支部電話二五四番は八月二十九日何れも長距離電話として登録した。

横濱支部電話は今回同市に於ける電話交換方法が自動式となつた爲め、大正十五年三月二十五日以後本局(一)五四四〇番に変更した。

(十二) 横濱海員ホーム經營及利用委員會

大正十四年四月二十九日附を以て横濱市助役より横濱海員ホームの經營及利用に付き、委員會を組織したきに付委員一名推

薦方依頼あり。組合は五月八日附にて横濱支部主任堀内長榮氏を推薦する旨回答せり。

(十三) 横濱港内通船市營決議

大正十四年四月十六日横濱市會は港内通船市營の件を決議し直ちに實施する事となれり。

(十四) 北但震災見舞金

大正十四年五月二十三日城崎豊岡を中心とする北但大震災に對し、組合は兵庫縣廳に震災地居留民見舞金として金券百圓を提供した。

(十五) 海員編輯人名義變更

從來の「海員」編輯人總井司氏副組合長を辭任し顧問となりたる結果編輯人の名義は編輯部長家澤滿亮氏に変更する方便なりとし第三回評議員會に於て其承認をうけたり。

對内的事項

(一) 組合紀律違反者除名

東本願寺法嗣大谷光暢師の原作にかゝる日活映畫「波荒き日」が三月十七日、本組合及海員協會代表者より原作者及日活代表者との間に今後絶対に上映せぬと約束し、一旦解決したるに拘らず五月一日淺草三友館に於て上映せられたるは、其間前記兩團體の幹部が日活側に買収されたる故であるを云ふ、全然事實無根の中傷的記事が四月八日小樽新聞に日本海員組合有志團の名の下に投書された。此投書に對し組合は直ちに抗議書及取消文を送つたのに對し、同新聞社は繰り返し其の輕卒を陳謝